富岳風穴

富岳風穴は、青木ヶ原樹海の地下にある地下通路で、東海自然歩道のすぐ側にあります。岩へと続く最初の数歩はさておいて、傾斜は比較的ゆるやかで、子どもでもこの長さ 201m の洞窟を安全に歩き、15 分で戻ってくることができます。天井は比較的高いですが、一部、頭上に気をつけるべき箇所が 2、3 箇所あります。

便利な案内標識が、マグマがまだ固まり切っていない段階で洞穴の壁面が壁紙のように丸まりながら底部へと剥がれ落ちた「溶岩棚」などを含む、地質学的な見どころを教えてください。

気温が 3℃で安定しているこの洞窟の最深部には、種や穀物、そして蚕用の棚が一式設えられています。これらの棚はもう使われていませんが、20 世紀半ばという最近の時期まで天然の冷蔵庫としての役目を果たしていました。夏には、この洞窟の中に貯蔵された氷が首都から買いに来た人々に販売されたり、熱さましに使われたりしていました。蚕を洞窟に貯蔵することで、1 年中絹糸を生産することが可能になり、蚕を冷たい場所から動かすと、春が来たのだと思い込み、糸を吐いて繭を作り始めます。